



令和元年 8 月 8 日  
陸 幕 広 報 室

令和元年度国内における米陸軍との実動訓練(オリエント・シールド19)の概要について

陸上自衛隊は、以下のとおり令和元年度国内における米陸軍との実動訓練(オリエント・シールド19)を実施いたします。

## 1 目 的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図る。

この際、米陸軍部隊のRSOI(※)支援を実施するとともに、米陸軍MDTF(マルチ・ドメイン・タスク・フォース)と連携し、複数の領域にわたる日米共同のオペレーションについて演練する。

※ Reception(受け入れ)、Staging(駐留・作戦準備)、Onward-Movement(前方展開)、Integration(戦力統合)

## 2 期 間

令和元年 8 月 2 6 日(月)～9 月 2 3 日(月)

## 3 場 所

健軍駐屯地、大矢野原演習場、高遊原分屯地、奄美駐屯地及び矢臼別演習場

## 4 担任官

### (1) 陸上自衛隊

西部方面総監 陸将 本松 敬史

### (2) 米 陸 軍

在日米陸軍司令官 少将 ヴィエット X. ルオン(Viet X. Luong)

## 5 訓練実施部隊

### (1) 陸上自衛隊

ア 第4師団第16普通科連隊、第2高射特科団、西部方面特科隊 等

イ 人 員 約950名

ウ 主要装備 03式中距離地对空誘導弾、多連装ロケットシステム、  
12式地对艦誘導弾、対戦車ヘリコプターAH-1S 等

### (2) 米陸軍

ア 第33歩兵旅団戦闘団第2-106騎兵大隊、第17砲兵旅団、  
在日米陸軍航空大隊、第1-1防空砲兵大隊 等

イ 人 員 約950名

ウ 主要装備 高機動ロケット砲システム(HIMARS)、  
多用途ヘリコプターUH-60 等

## 6 特 色

- (1) 米陸軍は、パシフィック・パスウェイ構想の一部として本訓練に参加
- (2) 米陸軍部隊のRSOI支援を実施
- (3) 米陸軍MDTF（マルチ・ドメイン・タスク・フォース）と連携した領域横断作戦に必要な能力の獲得・強化のための訓練として指揮機関訓練を実施するとともに、共同射撃、共同対艦戦闘等を演練し、共同対処能力を向上

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、三井（担当）

(TEL : 03-3268-3111 内線40084)